

本書の特色

- 1 明治三十二年（一九九九）から昭和十七年（一九四二）に至る時期の、主として外交官・貴族院議員時代の出淵勝次の断続的な日記の翻刻と、彼の回顧談の復刻を収録。
- 2 外務次官または駐米大使を勤めた外交官が、両職の在任中に記した日記はきわめて少なく、とりわけ駐米大使在任中の公刊された日記としては、現在のところ出淵とその女婿朝海浩一郎のものだけであり、貴重。
- 3 日記はメモ形式ではなく、起床から就寝までの一日の行動や出来事を詳述。
- 4 明治期の日記二冊、とりわけロシア視察旅行の日記は、大蔵大臣ウィッテとの会談内容を伝えるだけでなく、シベリア鉄道全通前のロシア極東地域やシベリア地方の状況を知るための貴重な地誌的記録。
- 5 外務省重細亜局長・外務次官・駐米大使在職時代の日記は、第二次奉天戦争、郭松齢事件、満洲事変等の外交政策の決定過程について、外務省記録（外交文書）などの公文書だけでは捉え切れない裏面の事情を提供。
- 6 貴族院議員就任前後の日記は、オーストリア・ニュージールランドへの親善使節としての派遣記録、日中戦争や防共協定強化問題への対応策、貴族院における日米交渉をめぐる質疑応答などを収める。
- 7 外交官在職時代の思い出深い事件や経験について、簡にして要を得た回顧談も収録。
- 8 巻末の主要人名索引は検索に便利。
- 9 出淵勝次の政治的生涯とその日記に関する解題のほか、略年譜、関係系図、主要著作一覧を網羅することによって、彼の業績が一望のものになった、まさしく出淵勝次に関する史料の『決定版』。
- 10 高松宮宣仁親王・同妃喜久子両殿下、徳川家達、石井菊次郎、深井英五、松岡洋右、米国大統領F・D・ルーズヴェルト夫妻、米国国務長官ステイムソン、飛行家リンドバーグ、デイヴィス・カップ創設者デイヴィス、映画女優ジョーン・クロフォードなど、主に出淵が駐米大使時代に要人等とともに撮影した貴重な写真を掲載。

出淵勝次日記

定価：本体二二、〇〇〇円＋税

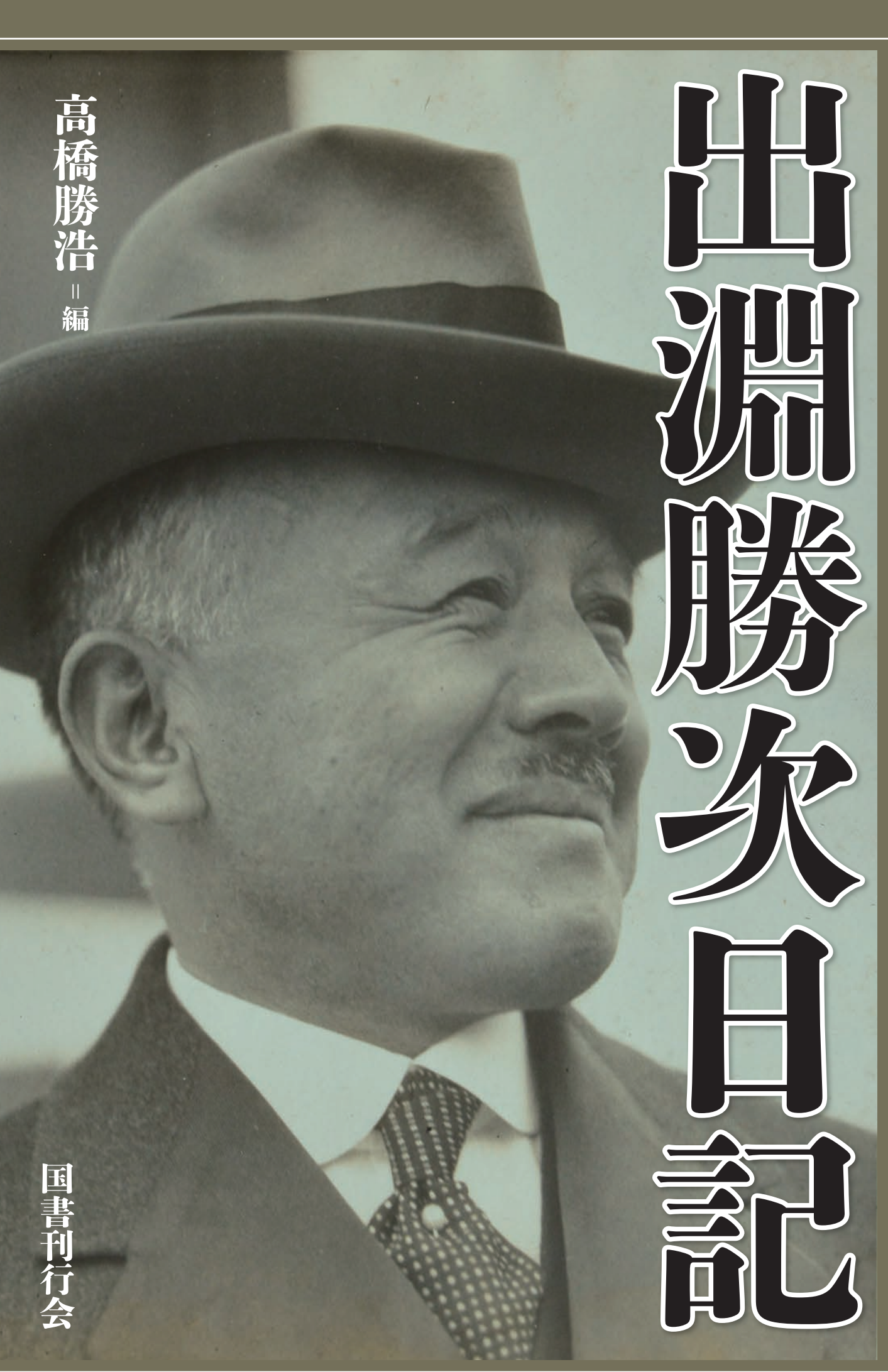
ISBN978-4-336-07398-3

〔造本・体裁〕A5判（二二〇×二四八ミリ）・上製クロス装・貼函入・七五二頁／本文組Ⅱ二Q二段組

二〇二二年一月二〇日発売

日本外交を中心とする国際政治史研究に不可欠の第一級史料

出淵勝次日記



高橋勝浩 編

国書刊行会

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15 Tel 03-5970-7421 Fax 03-5970-7427 URL: <https://www.kokusho.co.jp> E-mail: info@kokusho.co.jp

帖合・書店印

国書刊行会『出淵勝次日記』を_____部申し込みます。

申込書

お名前 _____

ご住所 _____

お電話 _____

*必要事項をご記入のうえ、書店へお渡しく下さい。

